

生研ニュース

部 外 活 動

一 講 演

- ◇助教授 松永正久 助手 萩生田善明「ラッピングに関する研究(第2報)」精機學會講演會(1952.4.26)
- ◇助教授 大島康次郎「テナフ時計の等時性について」同上(1952.4.27)
- ◇助教授 植村恒義 大學院學生 菅谷勝彦「寫眞機用シャッターの音響試験装置の試作」同上(1952.4.27)
- ◇助手 安井勇夫「クリーブおよび回復に関する實驗的研究」同上(1952.4.28)
- ◇教授 星合正治 相川孝作「水銀陰極點の固定について」第26回電氣三學會連合大會(1952.5.5)
- ◇教授 星合正治 教授 森脇義雄 特研究生 猪瀬博「9,000 Mc 帯における表面波線路の特性」同上(5.4)
- ◇教授 藤高周平 助手 田代之之助 三須田善一郎「送電線における短い衝撃波の減衰變歪特性」同上(5.4)
- ◇教授 藤高周平 鈴木喜彦「ケーブル鉛被の電流損傷

について」同上(5.5)

◇教授 高木昇 助教授 齋藤成文外「電力線搬送の空中線結合に関する現場實驗」同上(5.4)

◇助教授 齋藤成文 特研究生 黒川兼行「定在波測定器の探針のアドミタンス測定について」同上(5.4)

◇助教授 野村民也「電氣的含濕量測定装置」同上(5.5)

◇助教授 安藤良夫 大學院 増田聖 特研究生 飯田國廣「多現象同時測定用抵抗線歪計」同上(5.5)

◇特研究生 尾上守夫 大學院 増田聖 市川初男「自動位相制御による安定化可變周波發振器」同上(5.4)

一 寄 稿

◇教授 高木昇 特研究生 尾上守夫「陰極結合型限流器」電氣通信學會雜誌 第35卷 第4號(1952.4)

◇助教授 丹羽登「超音波探傷器の感度標準」金屬 第22卷 第5號(1952.5)

一 現 地 實 驗

◇教授 高木昇 助教授 丹羽登 佐下橋市太郎「超音波厚み計によるタンクの腐蝕検査」味の素川崎工場(3.11~3.18, 1952)

◇教授 高木昇 助教授 丹羽登 佐下橋市太郎「超音波探傷器による電氣機關車用部品の検査」東芝府中車輛工場(3.31~4.2, 1952)

一 筆 者

紹 介

(勤務先記入のないものは全部生研所屬)

- ◇星合正治 教授 工博 專攻 電子管工學, 電氣計測
- ◇池田健 " " 專攻 精密歪計, 車輛構造
- ◇富田文治 大學院特研究生 專攻 " "
- ◇澤井善三郎 教授 工博 專攻 電力機器, 電氣制御
- ◇鴨井章 大學院特研究生 專攻 " "
- ◇高橋安人 教授 工博 專攻 機械力學, 自動制御
- ◇平尾收 助教授 專攻 內燃機關, 自動車工學
- ◇亙理厚 " 專攻 機械振動學, 內燃機關學
- ◇谷一郎 教授 工博(理工研) 專攻 流體力學
- ◇玉木章夫 助教授 專攻 氣體力學
- ◇平澤秀雄 日本航空株式會社
- ◇植村恒義 助教授 專攻 精密機器學, 高速度カメラ
- ◇渡邊要 教授 工博 專攻 建築環境學
- ◇糸川英夫 " " 專攻 音響機器, 直記式オン

- ◇齋藤成文 助教授 工博 專攻 超短波工學, 高周波應用
- ◇星野昌一 教授 工博 專攻 建築裝備學
- ◇坪井善勝 教授 工博 專攻 建築構造學
- ◇若林實 助手 專攻 " "
- ◇友田宜孝 教授 工博 專攻 糖化學および醱酵
- ◇中村亦夫 助教授 專攻 " "
- ◇吉弘芳郎 助手 專攻 " "
- ◇渡邊綱市郎 大學院特研究生 專攻 糖化學および醱酵
- ◇山本寛 助教授 專攻 化學工學
- ◇丸山隆 技官 專攻 " "
- ◇石井義郎 助教授 工博 有機合成化學, 高分子化學
- ◇山下雄也 工學院大學助教授 專攻 高分子化學

編 集 後 記

◇梅雨もあがり暑さきびしい眞夏の候、7月號を讀書子の机上におくる。
 ◇生産技術研究所の重要な使命の一つは中間試験研究である。本號は主として、昭和26年度に當所で行つたいくつかの中間試験研究の中、適當な問題について解説してもらつた。もちろんこれ以外いろいろの都合で

掲載できなかつたものもある。

◇できるだけ平易に、専門外の人にもわかりやすくということをモットーに編集した積りであるが、意に反した點がないでもない。

◇生産技術研究所の研究と工業の現場とを直結させるということが本誌の一つの目的である。その意味で現場の方々の本誌に對する建設的な御批判を賜りたい。(N.M.)

編 集 委 員

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 編集委員長 | 友田 宜孝 | 波邊 勝 |
| 編集委員 | 小川 誠一郎 | 石原 智男 |
| | * 野村民也 | 野崎 弘 |
| | * 野村 敬弘 | 岡宗 次郎 |
| | 星 望 | 坪井 善勝 |
| | 星野 昌一 | |
| 編集幹事 | 下村 潤二朗 | |
| 編集室 | 水野 晴明 | (水印ば) |
| 職文堂新光社 | 清水 徹一 | 當番委員) |

表 紙 説 明

生研式共振型曲げ疲労試験機の全體を示す。試験片は振動臺にのせるだけでよく、十數時間で10⁷回の振動をさせることができる。うしろの箱は制御裝置、全入力は400W程度。(本文11頁参照)

第4卷第7號 生産研究 定價130圓 地方賣價135圓(郵稅8圓)

1952年6月25日印刷

1952年7月1日發行

編集者 友田 宜孝

東大生産技術研究所
 千葉市千葉局内彌生町
 電話 千葉 366-370

發行者 小川 誠一郎

印刷者 井 關 好 彦

印刷所 大同印刷株式會社

東京都千代田區神田錦町3-1

發行所 株式會社 誠文堂新光社

東京都千代田區神田錦町1-5

電話 神田(25) 2126-2129

振替 東京 6294・6567